



勝浦市太極拳サークル

美心会だより

88式修了審査 3名合格

練習の成果が問われるのは発表会だけではない。個人的な技能の進歩の目安となるのは、武道の世界では段級だろう。師走に入った12月6日(土)、楊式88式の修了審査が興武館で実施された。



緊張感漂う楊式88式の修了審査

今回の審査の前に、「88式 合格のための観点」を表記した文書が配布された。

その内容は、

- ①弓歩ができていないこと。
- ②独立歩 軸足を曲げていること ふらつかないこと
- ③朴歩
- ④虚歩の区別がついていないこと

そして、技が未熟でないことである。

普段の練習では、とかく上半身の動きを強く意識し過ぎて足の動作は散漫になりがちだ。甚だしいときは、準備運動の基本立ちさえ足の向きが前方に平行でなく、楽な逆ハの字が見受けられる。

修了審査は、一人ずつ四方に分かれ他人の動作を盗み見できない形で進行。

今回の修了審査は4名が受験。音楽が始まり表演がスタートすると、会場は緊張感が漂い演武者は真剣そ

のもの。

表演終了後、山岸先生から審査結果が発表され、鈴木蓉子さん、宮川敏子さん、大内誠子さんの3名が合格した。

これからの練習でも「合格のための観点」を念頭に置いて練習に励みましょう。

平成26年 忘年会開催

例年12月の第一土曜日が美心会の忘年会開催日と決められている。今年も12月6日(土)午後6時から内田を会場に美心会の忘年会が開催された。



「一年間お疲れさま 乾杯！」

忘年会は、山岸先生を含め25名が出席。会は野口会長の司会進行で、山岸先生の挨拶に始まり次いで「乾杯」が行われ一年間の労苦をねぎらった。



